

第2回津別町総合計画推進協議会議事録

福井委員長挨拶

会議の開始が遅れたことにより、出席者の時間を奪う形となったこととお詫びする。本委員会は総合計画推進委員会であり、役場の管理職が集まる重要な会議である。委員各位には、民間の視点から忌憚のない意見や計画の審査を円滑に進めてもらいたい。後期計画において文言の見直しやスケジュールの変更があるが、改善案や気になる点があれば積極的に発言してほしい。

佐藤町長挨拶

本計画は令和2年から始まり、今年度が見直しの年に当たる。議会では財政に関する一般質問が予定されており、財政計画案を作成した。町の借金は100億円を超えているが、地方交付税として措置される分を除けば実際に支払う額は大きくない。ただし、物価高や人件費の高騰が予想されるため、来年度以降は厳しくなる。計画の取捨選択が重要となるため、委員の知恵を借りながら取り組んでいきたい。

1. 実施計画(後期)素案についての意見交換

都丸委員

1-4の地域人材育成について、具体的にどのように進めるのか。また、公営住宅に関して、町営住宅を特賃に変更するなどの住まいの課題が依然として残っている。

加藤住民企画課長

地域人材育成は、令和8年4月からの施行を目指してまちづくり条例を策定中。住民・行政・議会がまちづくりに参加できる体制を構築し、住民の声を拾い上げる仕組みを作る。

福井委員長

具体例はあるのか。

加藤住民企画課長

条例はゴールではないため、どのように進めるかは現在検討中。

都丸委員

3-2-3の時期住宅整備計画の現状はどうなっているか。

迫田建設課長

前期計画でニーズを把握し、令和7年度に新たな計画を作成する予定。空き家が増加している状況を踏まえ、ニーズに応じた住宅整備を進める。空き家推進委員会から意見を吸い上げ、計画に反映していく。

榎本委員

デジタルマップのインバウンドに対する影響力や食事・トイレの確保についての見解を問いたい。また、人口減少が進む中で財源確保やふるさと納税の現状について知りたい。

石川産業振興課長

インバウンド対応については、何が必要かを含めて今後の議論が必要。計画はエコツーリズム委員会で策定中。

佐藤町長

ランプの宿の宿泊者数はコロナ前で500名ほど、現在は300名程度。観光客が増えるとゴミ問題などが発生するため、総合的な費用対策が求められる。

加藤住民企画課長

ふるさと納税は自主財源確保において重要。今後もまちづくり会社と町内事業者と連携しながら進める。

福井委員長

挨拶プロジェクトについての進捗はどうなっているのか。

平塚住民企画係長

令和2年以降、特段の活動はしていない。まちづくり条例に組み込むことを想定して項目を削除した。

榎本委員

地元貢献し、小さい町で支え合うことが重要だと考える。

福井委員長

10年後の目指す姿に挨拶プロジェクトを入れてはどうか。

平塚住企画係長

検討する。

加藤委員

津別に住み始めて10年が経過し、ようやく生活基盤が整ったと感じる。これからは町のPRが必要であり、限られた人材を活用して効率的に取り組むべきだ。

福井委員長

特に意見がなければ、この素案を進めるということよろしいか。

全員

了承。

2. 中期財政計画(後期)についての意見交換

福井委員長

中期財政計画について説明をお願いします。

小西住企画課長補佐

中期財政計画の詳細説明を行う。

榎本委員

病院建設や介護施設移転などの大規模事業を進める中で、どの程度貯金を切り崩す予定か。

小西住企画課長補佐

計画に基づき、必要に応じて貯金を切り崩しつつ対応する。ただし、計画外の歳出にも備える必要がある。

榎本委員

地方交付税の算定基準や人口減少による影響についての懸念はあるか。

伊藤副町長

算定方法は複雑で詳細な説明は難しいが、急激な人口減少に備えた措置は存在する。

山上委員

町にはまだ挑戦できる財源があり、創意工夫を凝らした取り組みに期待している。

3. 今後のスケジュールについて

福井委員長

時間がきたので事務局からスケジュールの案内をお願いします。

長岐住民企画主事

ご意見を反映した修正版を作成し委員に確認していただいた後に、3月議会で報告する予定。町民への公表については町ホームページにて行う。引き続き来年度もよろしくをお願いします。